

Mizuho Daily Market Report

2023/2/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	134.84	136.48	+1.78	+2.33
EUR	1.0591	1.0548	▲0.0048	▲0.0147
AUD	0.6795	0.6726	▲0.0082	▲0.0153
SGD	1.3443	1.3506	+0.0079	+0.0142
CNY	6.9363	6.9601	+0.0520	+0.0915
MYR	4.4365	4.4353	+0.0013	+0.0003
THB	34.89	34.81	+0.13	+0.21
IDR	15222	15225	+35	+22
PHP	55.00	54.90	+0.00	▲0.35
INR	82.78	82.75	+0.01	▲0.08

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.943%	+6.6 bp	+12.8 bp
日本(10年)	0.504%	▲0.2 bp	▲0.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.537%	+5.9 bp	+9.7 bp
オーストラリア(5年)	3.641%	▲3.9 bp	+5.0 bp
シンガポール(5年)	3.237%	+8.7 bp	+12.6 bp
中国(5年)	2.723%	+0.3 bp	+4.5 bp
マレーシア(5年)	3.619%	▲0.3 bp	+0.1 bp
タイ(5年)	2.145%	▲2.4 bp	▲0.9 bp
インドネシア(5年)	6.494%	+0.4 bp	+12.1 bp
フィリピン(5年)	5.950%	+0.1 bp	▲4.8 bp
インド(5年)	7.387%	+0.8 bp	+4.4 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,816.92	▲1.0%	▲3.0%
N225(日本)	27,453.48	+1.3%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,178.82	▲1.9%	▲2.2%
ASX(オーストラリア)	4,299.29	▲0.4%	▲1.6%
FTSTI(シンガポール)	3,282.30	+0.5%	▲1.4%
SSEC(中国)	3,267.16	▲0.6%	+1.3%
KLSE(マレーシア)	1,456.80	▲0.1%	▲1.4%
SETI(タイ)	1,634.02	▲1.1%	▲1.1%
JKSE(インドネシア)	6,856.576	+0.3%	▲0.6%
PSE(フィリピン)	6,685.90	+0.0%	▲1.4%
SENSEX(インド)	59,463.93	▲0.2%	▲2.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	267.15	+0.1%	▲0.2%
金	1,811.04	▲0.6%	▲1.7%
原油(WTI)	76.32	+1.2%	▲0.0%
銅	8,689.00	▲2.2%	▲2.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	135.40	—	136.90
EUR/USD	1.0510	—	1.0700
AUD/USD	0.6600	—	0.7000
USD/SGD	1.3320	—	1.3530
USD/CNY	6.8600	—	6.9800
USD/MYR	4.4100	—	4.4600
USD/THB	34.40	—	34.80
USD/IDR	15150	—	15280
USD/PHP	55.00	—	55.50
USD/INR	82.60	—	83.00

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は植田次期日銀総裁候補の所信聴取を控えて神経質な相場のなか134円台後半でオープン。注目された所信聴取の発言内容は黒田現日銀総裁の意向を踏襲するものに留まったものの、仲値の実需フローが重なり一時134円台前半まで下落。その後急速に買戻されて134円台後半まで反発し、同水準にて海外時間に渡った。

アジア通貨は全般的に対ドルで下落する展開となった。米金利の上昇基調が続いていることに加え、ウクライナ侵攻をめぐる中国と欧米の対立が懸念材料となりリスクオフの動きが強まったことがアジア通貨売り材料となった。

海外市場のドル円は欧州勢参入後は、イベントの無風通過や米金利上昇が好感され、買い優勢の流れとなり135円台を回復。NY時間早朝も一本調子で上昇し、135円台後半でNYオープン。NY時間朝方はFRBがインフレ指標として注目している米1月PCEデフレーターが予想を上回り、高インフレへの懸念再燃から債券安・株安・ドル高の流れが強まると、136円台半ばまで上昇。NY時間午後後は高値圏での小動きが続き136円台半ばでクロスした。

【金利】

先週金曜日の米債利回りは上昇。海外時間は債券買い優勢となる時間帯も見られたが欧州債の金利上昇につれじりじりと売られ、その後にNY時間朝方の1月個人消費物価デフレーターなどが軒並み予想を上回る強い数字となったことから短期ゾーンを中心に金利上昇。10年債利回りは再び4%手前まで上昇したのち、節目を前に伸び悩み3.94%前後でのクロスとなり、カーブはヘアステイプ化。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。2月に入り米国のインフレ長期化を示唆する経済指標の結果が相次いでおりトル高材料となっていたが、金曜日に公表された米1月PCEデフレーターも市場予想を上回る結果に。利上げ継続観測を高める結果となり引き続きドル買い優勢の展開が続くそう。

【本日の予定】

(日本) 12月 景気動向指数(確)
(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 1月 タイ 設備稼働率指数ISIC
(アジア) 4Q 豪 企業営業利益 / 在庫
(欧州) 1月 独 小売売上高
(欧州) 2月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)
(欧州) 2月 ユーロ圏 鉱工業信頼感指数 / サービス業信頼感指数
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 1月 中古住宅販売仮契約
(米国) 1月 耐久財受注(速) / 製造業受注-資本財(速)
(米国) 2月 グラス連銀製造業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。